

いっとう多文化交流フェスタ 世界ってこんなに身近なんだ!

日時: 2011年 **2**月 **11**日 (祝・金)

10:00~14:00

場所: 栗東市立中央公民館 (栗東市役所前)

【栗東市受託事業】

「多文化共生」をテーマにイベントを開催します。みんなで考え、創り上げるこのイベントは、栗東国際交流協会 (RIFA) の各種活動の発表の場でもあり、また、地域の多くの方が、気軽に楽しく参加できるものを目指しています。

当日ボランティアも多数募集していますので、ぜひ、ふるってご参加ください。

【委員長挨拶】

はじめまして。今年 RIFA の会員になった私が、RIFA の初企画である「いっとう多文化交流フェスタ」で、いきなり実行委員長をしています。

グローバル化が進み、気軽に海外旅行に行けるこの時代。海外からも多くの方が日本に来られ、栗東でも生活されています。そんな時代だからこそ、「多文化共生」をテーマに、みんなで考えていきたいと思います。

当日は寒いかもしれませんが、是非、多文化を実感し、交流の輪を広げていきましょう。



実行委員長
小松原賢治

非識字体験ワークショップ ~調理実習を通じて、感じとる想い~

10月22日(金) 14:00~16:00

なごやかセンター 栄養指導室

参加者: 11名 (& 乳幼児4名)



会員による新企画!



▲企画者の田中慶子さん(右)。実施前、何度も打合せをしました。



▲タイ文字で書かれたレシピを、辞書を参考に解説中のグループ。

言葉が分からない国で生活している人は、どんな気持ち?

4グループに分かれ、調理実習をしました。

- ①日本語のレシピ有
- ②タイ語のレシピとタイ語の辞書有
- ③タイ語のレシピ有
- ④レシピなし

悪戦苦闘するグループもありましたが、4種類の“お菓子”が、なんとか完成! 非識字について楽しく学べるこの講座、よりよい講座となるために、現在開発途中!

3年目！世界と出会う交流広場 in 滋賀がいいもん市

～多彩なステージと、各国の料理を楽しむ～

11月14日(日) 11:00～15:30
栗東芸術文化会館 さくら シンボル広場
スタッフ関係者:約 140名



2008年の栗東国際交流協会10周年記念事業をきっかけに、今年で3年目となった「世界と出会う交流広場 in 滋賀がいいもん市」。

今年は、「協力したい」と言ってくださる方や団体が増え、またイベント当日に、RIFAに入会される方もいました。

「多くの人を巻き込み、スタッフ自らも楽しみたい」という文化交流委員の想いと努力が実を結び、無事に実施できました。

*ホームページ(<http://www.rifa.jp>)では、歌や踊りが動画で見られます。

午前のクラスが新開講 英会話講座、後期がスタート！



10月に前期講座が終了し、11月から早速、後期英会話講座がスタートしました。

後期は、アンケートで要望が多かった「午前」のクラスも新たに開講。初めて受講される方も、何度目かの方も、David先生と一緒に、楽しく授業をされています。

★アンケートより

- ・このクラスの一番いいところは「先生！」
- ・間違っても安心な雰囲気
- ・何度受けても新鮮な気持ちでいられる

第2回 世界と出会う玉手箱 外国人のお友達とおしゃべりしよう！



▲ケニアのゲーム



▲金勝寺訪問



▲栗東トレーニングセンター

9月26日(日) 10:00～12:00
栗東市立中央公民館
参加者:52名(研修員含む)

JICA大阪の研修員10名(ケニア・ウガンダ・中国・インドネシア・メキシコ)が、「子どもの遊び」を教えてくださいました。ケニアの「にやま・にやま・にや〜ま」というゲームは、小さい子どもたちも、大はしゃぎ。

その後、研修員の皆さんは栗東の観光地を回り、栗東の魅力を体験していました。

多文化共生スタディーツアーで、 さまざまな取り組みを学びました。

11月25日(木)
参加者:36名(栗東市から1名)
主催:滋賀県、滋賀県国際交流推進協議会

多文化共生の取り組みが盛んな地域である岐阜県美濃加茂市を、バスで訪れました。

まず昼食では、ブラジル料理に舌鼓を打ち、他の参加者らと、食材について盛り上がりました。

その後、美濃加茂市の多文化共生課職員、NPO法人「ブラジル友の会」、古井地区自治会の方々から、3者が連携しながら、お互いの立場で行っている活動例にうなずき、見聞を深めました。

交流を深められた有意義な一日を過ごしました。

(報告: RIFA 奥村副会長)



▲活動例を聞いているところ



▲ブラジル料理

報告

滋賀県国際交流推進協議会の研修会を 栗東で開催



10月26日(火)
14:30~17:00
栗東市立中央公民館 2階
参加者:27名

滋賀県国際協会を事務局として運営されている「滋賀県国際交流推進協議会」の地域協会部会では、年に1度、滋賀県内の国際(交流)協会を回り、その協会の活動内容を共有することで、情報交換を行っています。今年度は栗東が会場となり、RIFA 岡田会長、奥村副会長、太田総務広報委員長、中野文化交流委員長が活動の報告と今後の方針について説明しました。

協働事業提案に応募。 RIFA 日本語教室について



10月15日(金)10:00~12:35
栗東市役所 2階
応募:6団体

市と市民団体が、協働して事業を行う「協働事業提案(平成23年度実施)」に応募。

提出書類や公開プレゼンテーションで、「日本語教室の継続の大切さと基盤確立」を伝えました。

詳細は3月号でお伝えします。

お知らせ

申込受付中!

玉手箱は、大人お1人でも参加できます。

楽しく学べる!

第3回 世界と出会う玉手箱

~アフリカンドラムを叩いてみよう!~

とき: 12月18日(土)
時間: 10:00~12:00 (受付: 9:40~)

場所: 栗東市立中央公民館

内容: ①トーキングドラムを使ってみよう!
②アフリカンドラムを叩いてみよう!

ゲスト: 清水康朗さん(元 JICA 青年海外協力隊)

野口明子さん(ぼむ・るーじゅ)

小池晶子さん(ぼむ・るーじゅ)

対象: 小学生、一般(ご家族でどうぞ♪)

定員: 40名程度(申込先着順)

参加費: 無料



楽しく学べる!

第4回 世界と出会う玉手箱

~文字が読めないってどういうこと?
ネパール「タルー族」の村から~

とき: 2月27日(日)

時間: 10:00~12:00 (受付: 9:40~)

場所: コミュニティセンター大宝東

(栗東駅前ウイングプラザ3階大会議室)

内容: ①非識字体験ゲーム「ここは何色?」

②タルー族の村のお話(水運び体験有!)

ゲスト: 左近健一郎さん(元 JICA 青年海外協力隊)

対象: 小学生、一般(ご家族でどうぞ♪)

定員: 30名程度(申込先着順)

参加費: 無料



「世界と出会う玉手箱」は、JICA 大阪国際センターが滋賀県内で実施している親子向け開発教育ワークショップ。親子で開発途上国について考えるきっかけ作りを目的とし、RIFA と共催で、今年度4回開催予定。

各種イベント、講座の申込・問い合わせは
RIFA 事務局まで(月~金 9:00~17:00)
電話: 077-551-0293/Fax: 077-554-1123
メール: mail@rifa.jp
ホームページ: <http://www.rifa.jp>

やってみよう!

◆国際理解〇×クイズ◆

世界三大料理と言えば、「フランス料理」
「中華料理」「トルコ料理」である。

答えは4面→

第18回滋賀県ミシガン州友好親善使節団の派遣(平成22年9月10日(金)～17日(金))に参加された横井幸子さんに、感想をいただきました。

帰国後、バーミングハム市長からの記念品を栗東市長へ届けてくださり、また、この機会にと、栗東国際交流協会に入会され、現在、英会話講座を受講中です。



広報で見つけたミシガン親善使節団募集に何気なく申し込んだのが始まりで、あれよあれよという間に出発することになりました。

ホームステイ、言葉の壁など、不安と期待のパッケージ付きで米国入国。予想通りの厳しい入国審査、セレモニーやホストファミリーとの出会いと緊張の連続でしたが、皆さんがとても親切でホッとしました。今回、私のホストファミリーは偶然に日本人の方でした。従って、日本語で会話することが出来てラッキー！でも反面、英語生活を経験できず残念という思いも少しは…。しかしながら既に20年余りを米国で暮らしていらっしゃるので、様々な面でアメリカ人でもありました。彼女の友人達(日本人)と会食する機会があったのですが、異国の地でたくましく生きておられる姿に圧倒されました。とにかく皆さん「イエス、ノー」がはっきりしているし、自分で道を切り開いていくという姿勢が共通していました。海外生活に慣れてというだけでは進めないのですね。

食生活では、朝からドーナツや甘いワッフルが出てきたり、夜はほとんど外食で、キッチンを私達のように頻りに使わないのが不思議でした。他にも、色々な場面での習慣の違いに驚きながらも気持ち良く、そしてエキサイトする毎日でした。

中でも、6日間の滞在中で一番印象に残ったことは、思ってもいなかった栗東の姉妹都市バーミングハム市の小委員会に招かれ、市長にお出会いしたことです。市長からの歓迎と両市の友好継続のメッセージと記念品をいただき(半分ほどしか理解できませんでしたが…)、さて、こちらからの感謝の辞を頭が真っ白状態になりながら50人ほどの方の前でつたない英語で話しました。どこまで通じたのやらと心配でしたが、終わった後に皆さんが声を掛けて下さって感激しました。

今回の親善使節団を派遣するに当たっては県や市、ミシガン州の交流協会をはじめ、多くの皆さんのご尽力があつてこそと感謝しています。そして、これからもこの活動が継続していくことを願っております。

- 滋賀県と米国ミシガン州は1968年に姉妹協定の調印を行い、県主催で、友好親善使節団の受入・派遣を交互に毎年行っています。なお、栗東市の姉妹都市はミシガン州バーミングハム市。(1976年調印)

会員募集中!

【会員特典】

当協会イベントや講座参加費の割引
会報「Koryu」やイベント案内のお届け

【会費(年間)】

個人 2,000円 家族 3,000円 法人 10,000円

春夏秋冬

「世界と出会う交流広場」(2面掲載)では、ベリーダンス、パルーの歌・劇などが次々とステージに登場。会場からは割れるような拍手が起こり、「地域の国際化」も市民の皆さんの中に着実に浸透していました。このところRIFAの活動は、ますます多彩となっております。多文化共生社会の新たな伝統作りに、今後も会員の皆さまのご協力を、よろしく願い申し上げます。(A.O)

より充実した活動を実施するために、活動に賛同し、応援していただける会員を募集しています。また、委員会・ボランティア活動に興味をお持ちの方は、お気軽に事務局までお問い合わせください。